

■発注者:愛知県三河港務所

## 港湾改良工事函渠工 三河港(大塚地区)

施工一 鈴木工業株 (愛知県蒲郡市)

### 潮位の動向を常に意識 波の影響も考慮



現場代理人  
尾崎真二さん

話す。排水ポンプなど対策は万全にしていたが、「雨と潮位の上昇が重なる」と現場が浸水するるので、自然災害の恐ろしさを痛感した」という。

蒲郡市海陽町地先で、国道23号から海陽町内施設へのアクセスを向上させ、埋立地内開発計画、都市道路計画と連動し、大塚地区開発を進める目的のための一環で工事を進めている。主な工事は、護岸工1995立方メートル、函渠工3連ボックスの延長30メートルの他、掘削工、仮設工などを進めている。10月末での進捗率は約40%で、これからピークを迎える。

「海辺での工事のため気象条件が厳しく、潮位の動向を常に意識している」そうだ。三河湾の奥地でもあり、潮位が他の港湾と比べて約30センチ高いのが特徴で、先日の台風19号では、「直撃は避けられたが、海抜3メートルの鋼矢板にギリギリ迫る海面上昇で肝を冷やした」と

人や船舶の往来はほとんどない場所なので、関係者以外に気を使うことは少ないが、「河床掘削の作業が高所作業となるので、足場からの墜落と転落に注意している」と話す。「これから風が強くなる季節になるので、一層の注意が必要になる。また、水中での作業も行っているので、波の影響などを考慮して進めていく」と安全対策を万全に、無事故・無災害で工期を完了させる。



港湾改良工事函渠工



## 鈴木工業株式会社

代表取締役 鈴木康仁

本店 愛知県蒲郡市元町5-8  
TEL(0533)68-6186(代) FAX(0533)67-1228

【工事概要】■場所—愛知県蒲郡市海陽町地先■工期—2019年6月15日～20年2月29日■概要—護岸工1995立方メートル、函渠工(5×3・2・3連BOX)延長30メートル(2期工事)、仮設工など